

平成 30 年 12 月 26 日

会員各位

鎌倉市医師会会長代行 井上 俊夫
公衆衛生担当理事 湯浅 章平

日本医師会 2018 年度「第 5 回医師主導による医療機器開発のための
ニーズ創出・事業化支援セミナー」について

神奈川県医師会を通じて、通知がまいりましたのでお知らせいたします。
出席ご希望の方は申込書ご記入の上、直接お申し込みください。（先着順）
こちらは鎌倉市医師会HPにもアップロードしてありますので、ご確認ください。

神奈川県医師会
会長 菊 岡 正 和
(公印省略)

日本医師会 2018 年度「第 5 回医師主導による医療機器開発のための
ニーズ創出・事業化支援セミナー」について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
また、平素より本会事業にご理解ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、標記のセミナーについて、日本医師会長より周知依頼が参りました。
つきましては、貴会におかれましても、本件についてご丁知いたたくとも
に、貴会管下関係医療機関に対し、周知方よろしくご高配のほどお願いいたし
ます。

なお、本通知は、神奈川県医師会公衆衛生委員専用ホームページに掲載いた
しますので、閲覧もしくはダウンロードをお願いいたします。

お問い合わせ先

地域保健課 担当：福本

横浜市中区富士見町 3-1

TEL 045(241)7000 FAX 045(241)1464

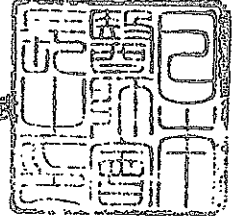
E-mail k-fukumoto@kanagawa.med.or.jp

日医発第971号(総研68)

平成30年12月3日

神奈川県医師会
会長 菊岡正和 殿

日本医師会
会長 横倉義武



日本医師会

2018年度「第5回医師主導による医療機器開発のための
ニーズ創出・事業化支援セミナー」について
(後援名義使用及びご協力依頼)

平素は、日本医師会が行う会務にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。
でございます。

わが国の超高齢化社会における持続可能な医療提供体制の維持にあたっては、
医師等の人的資源の確保はいうまでもなく、革新的技術による医療機器等の開
発・普及による質の高い治療技術の導入が必要です。

医療機器は医療現場における医師のニーズに基づくアイデアから生まれるこ
とが多いものの、日常診療に忙殺されている多くの臨床医は、自ら医療機器の
開発や事業化に携わることが困難であるといわれております。

そのため、様々なアイデアを持つ医師と機器の開発を担う事業者とが信頼関
係に基づき、緊密に連携しながら機器開発を進めていくことが重要であると認
識しています。

そこで、日本医師会では、特に臨床ニーズやアイデアの創出を図るべく、医
師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー(以下、「本
セミナー」という。)を開催することとしました。本セミナーでは、医師会員を
中心に非会員、工学系研究者、弁理士会、及び自治体等にも参加を呼びかけて、
わが国の医療機器開発の促進に向けた方策とあり方について識者を交えて展望
するとともに、支援窓口において個別相談を行うことやセミナー参加企業との
交流を図っていただく予定です。

貴職におかれましては、ご多忙の折、誠に恐れ入りますが、何卒趣旨をご理
解いただき、後援名義使用のご承認、及び本セミナーへの参加者募集について、
貴会会員に対する周知の方、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

以上

(別添) 2018年度「第5回医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・
事業化セミナー」

- ・ 開催企画書
- ・ 参加案内



2018年6月
日本医師会

2018年度
「医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー」
について

－開催企画書－

I 趣旨及び目的

国は、臨床ニーズの創出から具現化、ハンズオン、海外展開までを一気通貫で支援するメディカルオープンイノベーションプラットフォームの構築を推進している。

これを踏まえて、日本医師会は、特に臨床ニーズやアイデアの創出を図るべく、医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー（以下、「本セミナー」という。）を開催し、医師会員を中心に非会員、工学系研究者、弁理士会、及び自治体等にも参加を呼びかけて、わが国の医療機器開発の促進に向けた方策とあり方について展望するとともに、個別相談や情報交換会を活用して、本年度中に革新的な医療機器開発の案件が発掘され、事業化等を図っていくことを目的とする。

II 本セミナーの概要

1. 講演

- (1) 医師のニーズがどのような工程でアイデアやシーズになっていくのかを事例を踏まえて紹介する
- ・ 日常診療におけるニーズとは何か
 - ・ ニーズから導き出されるアイデアやシーズとは何か
 - ・ アイデアやシーズの新規性、革新性とは何か
 - ・ 開発や事業化の課題
 - ・ 特許出願や権利化のハードル

(2) 地域における医療機器開発に関する情報等について提供する

- ・経済産業省医工連携事業について
- ・医学、薬学、工学、理学の連携

2. パネルディスカッション

- (1) 医療現場におけるアイデアやシーズの掘り起しを図る方策を議論する
- ・医学部学生、初期研修医、熟練専門医、開業医等、それぞれのステージで必要な臨床現場の環境について
- (2) 国民により質の高い治療技術を提供していくため、医療機器や技術の開発を支援する方策の在り方について議論する
- ・制度的課題と行政による支援
 - ・弁理士等、他職種からの支援

Ⅲ 2018年度のセミナー開催における計画

1. 開催目的

臨床現場に潜在するが、顕在化されない医療機器開発・改良ニーズを発掘、収集するとともに、シーズを有する大学等研究機関、医療機器メーカー、ものづくり企業、また、事業化ノウハウを有する各種専門家、VC等のほか、試験施設、インキュベーター施設等とのネットワークを構築し、医師と事業化パートナーとの連携による、ニーズプル型の医療機器開発プロジェクトの創出を図る。

米国では、医師と大学理工学や医療機器メーカーといった企業のシーズ、ベンチャー企業、VC等との距離が近く、臨床でのニーズ・アイデアを出発点として革新的な医療機器が連続して事業化されるエコシステムが存在している。一方、日本では、医師・医療機関と大学、企業等との垣根が高く、臨床ニーズがものづくり現場に十分に届いておらず、また、事業化パートナーとの連携も不足していることから、革新的な医療機器が次々と開発される土台が構築されていない。そのため、医師、企業、VC、専門家等とのネットワークを構築し、臨床ニーズが継続的に提案され、医師ニーズを出発点とした医療機器開発プロジェクトが、事業化パートナーとの連携のもと、次々と創出されるエコシステムの構築を目指す。

2. 事業の名称と主権、後援

(1) 事業の名称

経済産業省関東経済産業局

「平成30年度地域中核企業創出・支援事業（医師主導によるニーズプル型医療機器開発・事業化支援事業）に係る臨床ニーズ発掘セミナー」

(2) 主権

公益社団法人日本医師会

経済産業省関東経済産業局

(3) 年間を通じた主な後援（予定を含む）

厚生労働省、特許庁、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）、日本弁理士会、一般社団法人日本医療機器産業連合会（医機連）、一般社団法人日本医療機器テクノロジー協会（MT JAPAN）

3. 開催日程と概要

(1) 第1回セミナー 2018年9月30日（日）

①場所：東京都文京区 日医会館1F大講堂

②開催テーマ：医療関連職種との合同セミナー

③概要：歯科ユニット開発、診療空間デザイン、手術室パッケージシステム、ベッドサイドシステム、在宅医療システム 等

(2) 第2回セミナー 2018年10月13日（土）

①開催場所：広島県広島市 TKPガーデンシティ PREMIUM 広島駅前 ホール2A

②開催テーマ：IOT、AI、ロボット

③概要：事業化プロセスの明確化・パートナーとの連携、医師、パートナーによる連携のためのネットワーク構築、医療機器市場における競争力評価の目利き役の育成、

(3) 第3回セミナー 2018年11月17日（土）

①開催場所：福島県郡山市 ふくしま医療機器開発支援センター

②開催テーマ：東北と北関東をまたぐ広域的な医工連携活動の推進

③概要：革新的機器を用いた動物実験の体験と各種試験の知識習得

(4)第4回セミナー 2018年12月1日(土)

①開催場所：東京都文京区 日医会館・小講堂/ホール

②開催テーマ：医師が有する潜在ニーズの具体化

③概要：日本バイオデザイン協会との連携によるワークショップ

(5)第5回セミナー 2019年1月19日(土)

①開催場所：神奈川県川崎市 川崎商工会議所 川崎フロンティアビル

②開催テーマ：予防・健康増進に寄与する医療関連機器の開発への展望

③概要：治療機器のみならず、国民の予防、健康維持・増進に寄与する広義の意味での医療機器や周辺機器の開発に必要な知識を習得する。

併せて、IoT、AI、ロボット技術等の基礎的知識や応用に関する、医師、医療関係者、ものづくり企業等の関係者による事例紹介を行う。

(6)第6回セミナー 2019年2月16日(土)

①開催場所：大阪府吹田市 大阪大学銀杏会館

②開催テーマ：近未来の医療技術(再生医療、AI、ロボット等)開発への展望

③概要：大阪府医師会と大阪大学産学連携クロスイノベーションイニシアティブとの連携による、近未来の医療技術である再生医療、AI、ロボット等に関する最先端技術の知識習得と、医産学による多様な連携を推進するための方策を展望する。

・今後の最先端医療技術について：澤教授、医師、工学研究者

・今後の最先端医療機器について：ベンチャー企業関係

・医療機器開発事例の紹介：iPS細胞×8K顕微鏡 等

(7) 医療機器開発促進のための知財活用に向けたセミナー

2019年3月9日(土)

① 開催場所：東京都中央区 日本橋ライフサイエンスビル

② 開催テーマ：医工連携における知財の適切な活用促進に向けて

③ 概要：関東経済産業局「医療機器開発促進のための知財活用モデルの策定事業」として、日本医師会が請負契約を締結し実施する事業。

- ・医師や企業関係者へのアンケート、ヒアリング結果に基づき、知財活用の成功例、及び失敗例を中心とした知財活用に関する冊子を作製し、セミナーにおいて関係者に配布を行い、周知を図っていく。

IV セミナー開催に係る各契約等における反社会的勢力の排除について

セミナー開催に係る各契約等に、以下の条文を記載することとする。

日本医師会

「医師主導による医療機関開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー」
事業に係る、各契約等における反社会的勢力の排除に関する記載条文

甲（日本医師会）及び乙（契約先）は、それぞれ相手方に対し次の各号の事項を確約する

- (1) 自らが、暴力団、暴力団関係企業、総会屋若しくはこれらに準ずる者又はその構成員（以下総称して「反社会的勢力」という）ではないこと
- (2) 自らの役員（業務を遂行する役員、取締役、執行役又はこれらに準ずる者をいう）が反社会的勢力でないこと
- (3) 反社会的勢力に自己の名義を利用させ、本契約を締結するものではないこと
- (4) 本契約の有効期間内に、自ら又は第三者を利用して、次の行為をしないこと
 - ア 相手方に対する脅迫的な言動又は暴力を用いる行為
 - イ 偽計又は威力を用いて相手方の業務を妨害し、又は信用を毀損する行為

第5回 医師主導による医療機器開発のための ニーズ創出・事業化支援セミナー

本セミナーは、平成31年1月19日(土)に開催予定です。開催状況は本ページの「お問い合わせ」よりお問い合わせください。

開催プログラム

- 13:00 主催者挨拶 経済産業省関東経済産業局長 角野 然生 (予定)
- 13:05 共催者挨拶 川崎商工会議所会頭 山田 長清 (予定)
- 13:10 来賓挨拶 川崎市長 禰田 紀彦 (予定)
- 13:15 来賓挨拶 川崎市医師会会長 高橋 章 (予定)
- 13:20 事業説明 「医療機器産業振興に係る関東経済産業局の取組」について
経済産業省関東経済産業局次世代・情報産業課課長 窪住 敬寛
- 13:35 講演Ⅰ 「人工知能や深層学習等、最先端データサイエンスの動向」(仮)
慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室教授/
グローバルヘルスシステムイノベーション研究科長 宮田 裕章
- 14:15 講演Ⅱ
- 14:55 休憩 -----
- 15:15 開発事例① 医師による医療機器開発の事例紹介
- 15:30 開発事例② 企業による医療機器開発の事例紹介
- 15:45 開発講座 「医療機器開発に関する基礎講座」
株式会社日本医療機器開発機構代表取締役CEO 内田 毅彦
- 16:10 パネルディスカッション
- 17:00 閉会挨拶 日本医師会 常任理事 羽鳥 裕

併設プログラム

- 12:00~17:30 医療機器開発に役立つ展示ブース (於:会場内)
その場でアイデア登録や、今後のセミナー開催情報を受け取れるメンバ-登録ブースを設置しております。
- 12:00~13:00, 17:00~18:00 アイデアを有する先生向けの個別の案件相談 (※要事前申込)
- 17:20~19:00 医療機器開発に係る情報交換会 (※要事前申込)

開催日

平成31年 1月19日 (土)

場所

川崎商工会議所川崎フロンティアビル2階
神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2 JR川崎駅改札より徒歩3分

定員

定員: 120名 (参加費: 無料)
医療機器開発に関心をお持ちの医師、医療機関・医療関連職種、
大学・研究機関、製販企業、ものづくり企業、行政・支援機関の方

主催

日本医師会
経済産業省関東経済産業局

協賛

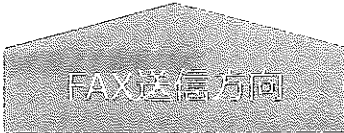
川崎商工会議所

セミナー定員
120名
参加費、無料

後援

後援 (予定を含む): 厚生労働省、特許庁、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)、公益財団法人医療機器センター、
日本弁理士会、一般社団法人日本医療機器産業連合会、川崎市、川崎市工業団体連合会、川崎市産業振興財団、神奈川県
川崎市医師会、川崎市内科医会、神奈川県医師会

担当事務局: 日本医療機器開発機構、新社会システム総合研究所、日本医師会総合政策研究機構 (日医総研)

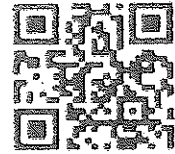


※以下の何れかの方法でお申込み下さい。

・FAX: 03-3946-2138

・WEB: <http://jmandc.med.or.jp/>

日本医師会総合政策研究機構 (吉田・来島宛)



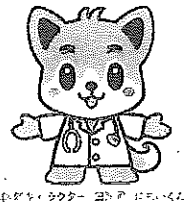
参加申込書

第5回 2019年01月19日(土) 13時~17時
医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナー

同日は、医療機器開発に役立つ展示のほか、既にアイデアをお持ちの医師向けの個別相談や、情報交換会も予定しております(要事前申込)。皆様のご参加心よりお待ちしております。

氏名		Email	@
住所	(都道府県のみ)	電話	- -
所属区分	<input type="checkbox"/> 医師 / <input type="checkbox"/> 医療機関・医療関連職種 <small>(看護師・臨床工学技士・臨床検査技師・事務等)</small> <input type="checkbox"/> 大学 / <input type="checkbox"/> 研究機関 <input type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 行政 / <input type="checkbox"/> 支援機関	FAX	- -
所属名称		役職	
案件相談 ※医師のみ	<input type="checkbox"/> 希望する (希望時間帯 ___時 ___分から ___時 ___分) / <input type="checkbox"/> 希望しない		
情報交換会	<input type="checkbox"/> 希望する (参加費 3,000円(税込) ※1. キャンセル規定参照) / <input type="checkbox"/> 希望しない		
セミナー案内	<input type="checkbox"/> 希望する (今後の関連セミナーの情報をご案内致します。) / <input type="checkbox"/> 希望しない		

- ※1. 定員になり次第、締め切らせて頂きます。
- ※2. 複数名ご参加の場合には、こちらの用紙をコピーしてお申し込みください。
- ※3. 参加希望者の個人情報、本セミナーの運営にのみ使用致します。
- ※4. 当日はメディア取材、広報撮影用のカメラが入りますことをご了承ください。



©2018 JMANDC. All rights reserved.

会場のご案内

川崎商工会議所

神奈川県川崎市川崎区駅前本町11-2
川崎フロンティアビル2階

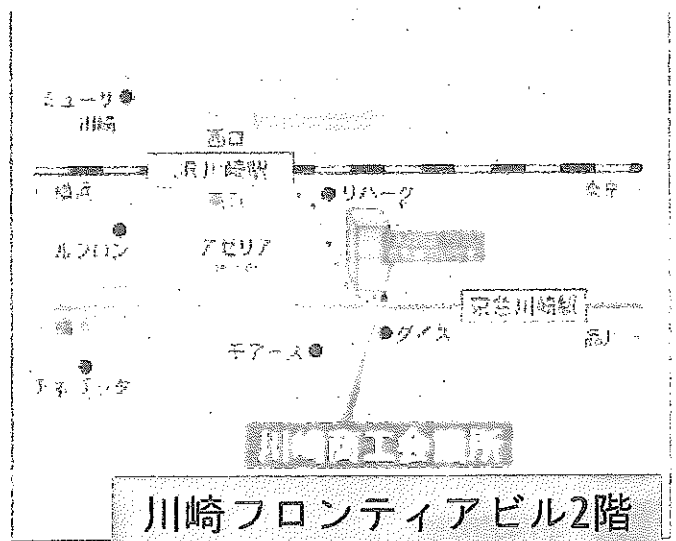
JR東横線、京浜東北線、東武線

「川崎駅」東口から徒歩2分

京浜東北線

「京浜川崎駅」中央口から徒歩1分

※入り口は京浜東北線沿いです。



川崎フロンティアビル2階

本セミナーに関するお問い合わせ窓口

日医総研 医療機器開発支援窓口 (Webサイト) : <http://www.jmandc.med.or.jp>

お問い合わせメールアドレス : supportdesk@jmandc.med.or.jp

担当: 日医総研 吉田・来島 TEL:03-3942-6475

(事務局記入欄 受付日 ___月 ___日 受付番号 ___ 受付者 ___)